

現在の暮らしの源流に思いを巡らせたことはありますか？今では当たり前となっている近代的な暮らしのモデルを広めたのは、戦後の深刻な住宅難を解消すべく日本住宅公団によって創られた団地だったと言われています。

「食寝分離」の西洋型の間取りに、ステンレスキッチン・水洗トイレ・ガス風呂・シリンドー錠の鉄扉などを備えた最新の暮らしが人気を集めた団地。全国に次々と建設された団地は、プライバシーとセキュリティを重視し、1つの住宅に1つの家族が住むという、現在につながる暮らしのスタンダードを創造しました。

団地には、独自の文化やコミュニティが育ち、多くの映画・小説・漫画の舞台となっていました。また近年は、子育て・介護などへの配慮、リノベーション、芸術家とのコラボレーションなど、実験的で新しいタイプの団地も注目されています。

一方で団地は今、建物の老朽化や住民の高齢化、共同体の消失など、さまざまな問題に直面しています。このセミナーでは、日本人のライフスタイルの変化と深く関わってきた団地の歴史と文化を多様な視点から紐解きながら、私たちがこれから先の未来に創造していきたい暮らしについて考えます。

2/13(日) 照井啓太 団地愛好家

大山顕 写真家／ライター

2/26(土) 千葉敬介 東京R不動産

饗庭伸 都市計画学者

2/27(日) 原武史 政治学者

山本理顕 建築家

13:00-15:00 講演_GUEST1

15:00-15:15 休憩

15:15-17:15 講演_GUEST2

17:15-17:30 休憩

17:30-18:30 対談_GUEST1×GUEST2

※進行状況によって変更になる可能性がございます。

【時 間】各日13:00-18:30

【会 場】生活工房 セミナールーム
三軒茶屋・キャロットタワー5F

【参加費】各日4,000円 ※オンライン決済

【定 員】各日50名 申込先着

【申 込】2022年1月10日(月)10:00より
生活工房該当申込フォームにて

※後日YouTubeへの一部公開を前提に撮影がります。

※新型コロナウイルス感染状況により内容は変更になる場合があります。

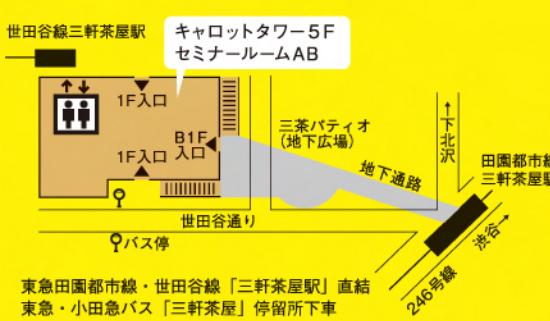
【お問合せ】

TEL 03-5432-1543

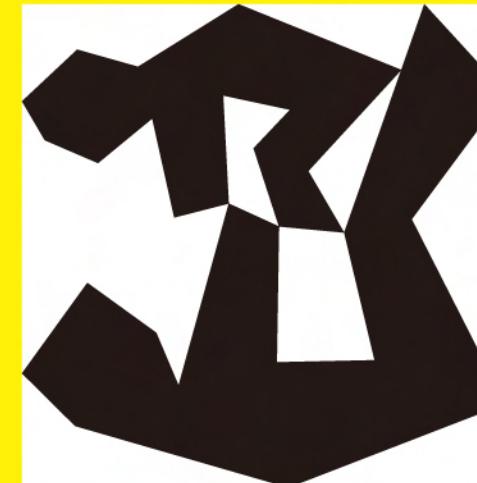
info@setagaya-ldc.net

www.setagaya-ldc.net

公益財団法人せたがや文化財団 生活工房



Japan's Danchi Housing Culture:
The Public, the Community,
and the Private



Lifestyle Creation

暮らしの創造



団地文化から考える公・共・私



生活工房
Lifestyle Design Center

2022年
2月13日(日) 2月26日(土) 2月27日(日)
13:00-18:30
生活工房 セミナールーム
三軒茶屋・キャロットタワー5F

山本理顕
建築家

原武史
政治学者

饗庭伸
都市計画学者

大山顕
写真家／ライター

千葉敬介
東京R不動産

照井啓太
団地愛好家

2月13日(日) 13:00-18:30

2月26日(土) 13:00-18:30

2月27日(日) 13:00-18:30

GUEST1 照井啓太

「団地概論」

日本各地の名作団地を紹介するファンサイト「公団ウォーカー」を運営し、昭和の懐かしい団地と人々の生活の様子を伝える書籍を出版されている団地愛好家の照井啓太さんをお招きし、戦後の団地創世記から現代まで各時代における団地とその暮らしの特徴や歴史的変遷について豊富な資料を見ながら解説していただきます。



公団黎明期の標準的な2DK
『日本住宅公団10年史』より



完成間もない「ひばりが丘団地」の空撮
『日本住宅公団10年史』より



豊かな緑に包まれる常盤平団地のスターハウス

照井啓太
Terui
Keita

1986年生まれ。団地愛好家。団地ファンサイト「公団ウォーカー」を運営。団地の魅力を紹介するイベント「ダンバク(大団地博覧会)」の開催をはじめ、テレビ・雑誌・新聞などで幅広く活躍している。著書に「日本懐かし団地大全」(辰巳出版)、共著に『僕たちの大好きな団地あのころ、団地はビカビカに新しかった!』、『団地ノ記憶』(共に洋泉社)など。

GUEST2 大山顕

「メディアとしての団地」

団地は、多くの映画・小説・漫画・アニメなどの舞台となっていました。団地マニアのユニット「団地団」の一員で、団地・工場・ジャンクションといった巨大建築の写真集を多く出版されている写真家・ライターの大山顕さんをお招きし、さまざまなサブカルチャー作品を通して団地と都市の関係について考察します。



都営横川五丁目アパート

© 大山顕



豊島五丁目団地10号棟



大谷田一丁目団地2号棟

© 大山顕

GUEST1 千葉敬介

「団地と街と暮らしの関係」

新しい視点で団地を再発見するサイト「団地R不動産」の運営や、空き店舗の多い街で、街を楽しく使うことに共感する店を集めて同時開店させることで全体を活性化する「ニューニュータウン」プロジェクトなどを手掛ける東京R不動産の千葉敬介さんをお招きし、団地や街に住む人や来る人が繋がりと楽しさを感じる場へシフトチェンジする方法を伺います。



「京都堀川団地リノベーションプロジェクト」
ワークショップツアー



「ニューニュータウン西尾久プロジェクト」の拠点



「ニューニュータウン西尾久プロジェクト」のイメージ

GUEST2 饒庭伸

「団地がつくりだした地形」

戦後わずか40年間に建設された団地は今、当初の役割を終えつつあります。団地によって都市の中に作られた一風変わった「地形」からどのような意味が読み取れるのか。人口減少により縮小する都市を考察した著書『都市をたたむ』で注目される都市計画学者の饒庭伸さんをお招きし、鉄道の沿線に建設された団地空間で生まれた思想や共同体についてお話をいただきます。



市民が手を動かして都市のあり方を考える
ワークショップ【山形県鶴岡市】



歩道上につくりだした休憩のための空間
【多摩ニュータウン】



ニュータウン整備でつくり出された地形
【多摩ニュータウン】

GUEST1 原武史

「団地の共同体思想」

1960~70年代に革新的な政治意識を支える基盤となった団地とその共同体。その後、コミュニティが衰退し個人主義が勢いを増していく団地は今、住民の高齢化や孤独死の問題を抱えています。政治学者の原武史さんをお招きし、鉄道の沿線に建設された団地空間で生まれた思想や共同体についてお話をいただきます。



ワルシャワ、モトコフの団地 [2016.10]



滝山団地 6丁目1街区 [2016.11]

原武史

Hara
Takeshi

1962年生まれ。政治学者。放送大学教授。「民都」大阪対「帝都」東京(講談社)でサントリー学芸賞、「滝山コミューン一九七四」(講談社)で講談社ノンフィクション賞、「昭和天皇」(岩波新書)で司馬遼太郎賞受賞。主な著書に『平成都市計画史 転換期の30年間が残したもの・受け継ぐもの』、「都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画」(共に花伝社)など。

GUEST2 山本理顕

「団地と地域社会圏」

国内外で多くの団地や公共施設の設計を手掛け、地域コミュニティを再構築する「地域社会圏」という新しい暮らし方を提唱する建築家の山本理顕さんをお招きし、単身化や高齢化によって限界を迎える日本の住宅システムに代わる新たな「公/私」のライフモデルを伺い、これから先の未来の暮らしについて考えます。



パンギョ・ハウシング



地域社会圏のイメージスケッチ



熊本県営保田荘第一団地

山本理顕

Yamamoto
Riken

1945年生まれ。建築家。名古屋造形大学学長。主な作品に東雲キャラクター、埼玉県立大学、公立はこだて未来大学、横須賀美術館、チヨリッヒ国際空港など国内外で多くの公共建築や集合住宅を手掛ける。日本建築学会賞、毎日芸術賞、日本藝術院賞など受賞多数。主な著作に「権力の空間/空間の権力」(講談社)、「脱住宅「小さな経済圏」を設計する」(平凡社)、共著に『地域社会圏主義』(LIXIL出版)など。

Lifestyle Creation

Japan's Danchi Housing Culture: The Public, the Community, and the Private